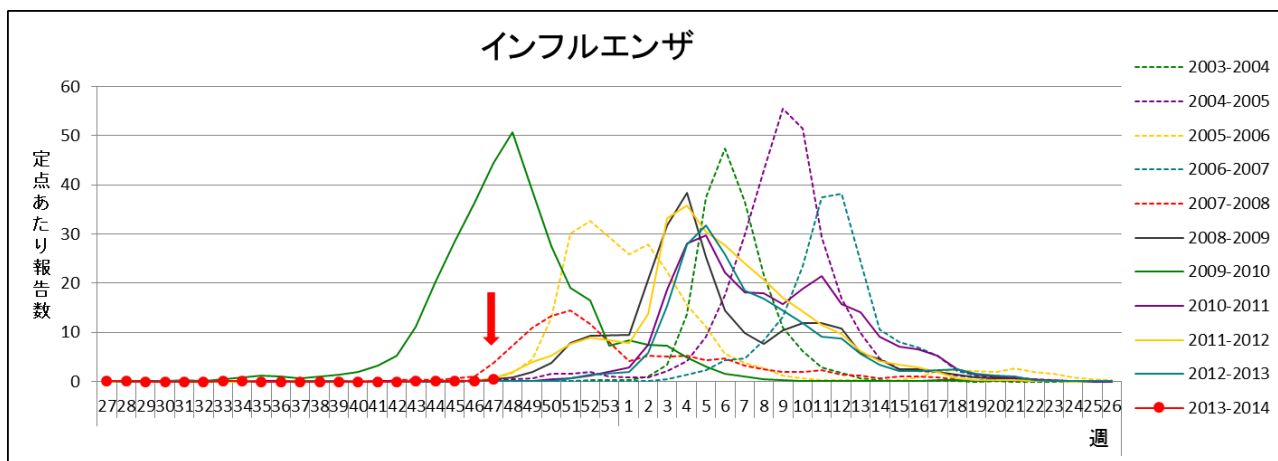


インフルエンザ情報 2013 年第 47 週 (11 月 18 日 ~ 11 月 24 日)

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で 31 名（定点あたり 0.10 → 0.37 人）の発生がありました（84 定点医療機関報告）。
- 倉敷市の小学校でインフルエンザとみられる臨時休業がありました。
- インフルエンザによる入院患者の報告はありませんでした。
- 第 47 週の倉敷市の患者 3 名から、AH3 型のインフルエンザウイルスが検出されました。

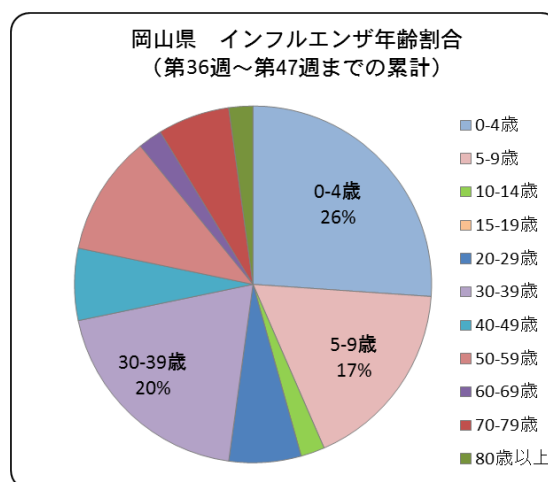
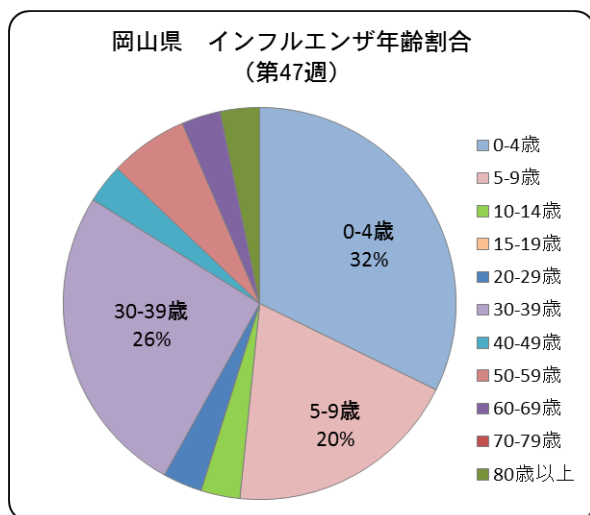


※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、今年 27 週 ~ 翌年 26 週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、倉敷市で 23 名、備中地域で 5 名、備北地域で 3 名の報告があり、県全体で 31 名（定点あたり 0.10 → 0.37 人）の発生となりました。県全体としての報告数はインフルエンザ流行開始の目安となる「定点あたり 1.0 人」を超えていないものの、倉敷市では定点あたり 1.44 人となり、地域的な流行が見られています。また、倉敷市の小学校で集団発生による学級閉鎖が報告されています。

インフルエンザの本格的な流行は、通常 12 月に入ってからといわれますが、県内ではすでに学校等の臨時休業も報告されていますので、手洗い・うがいを励行し、感染予防を心がけましょう。

1. 年齢別発生状況



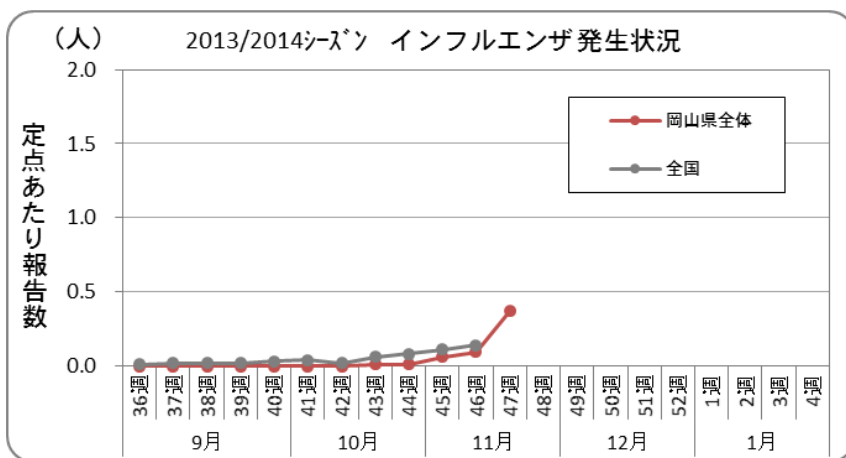
インフルエンザ患者の年齢割合は、0～4 歳が 32%、30 代が 26%、5～9 歳が 20% の順で多く、9 歳以下の乳幼児が 52% を占めています。幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。

2. 地域別発生状況

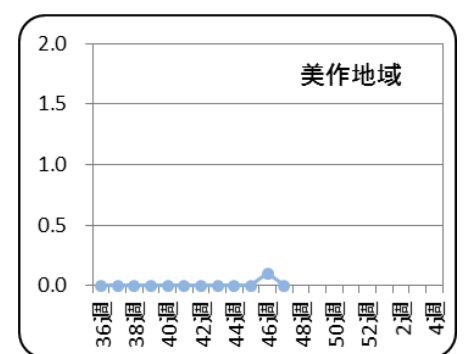
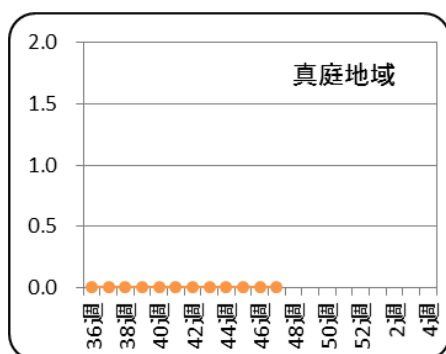
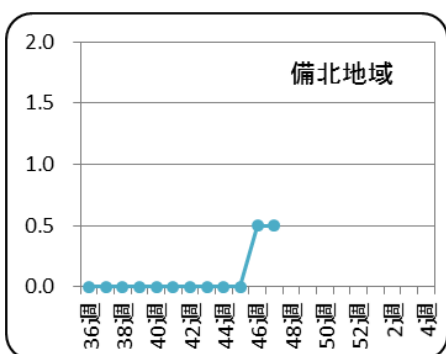
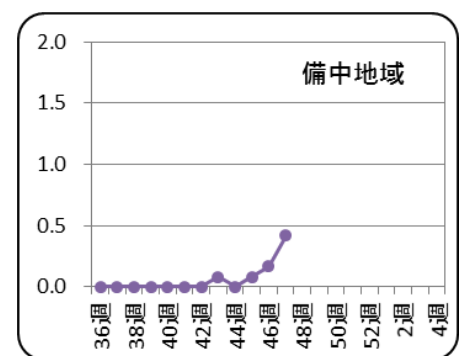
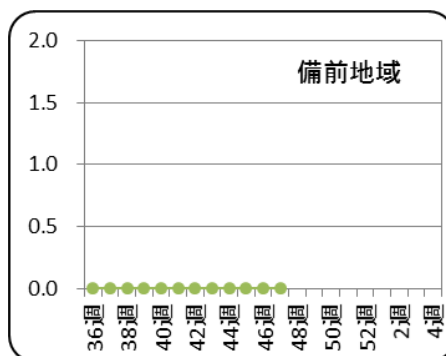
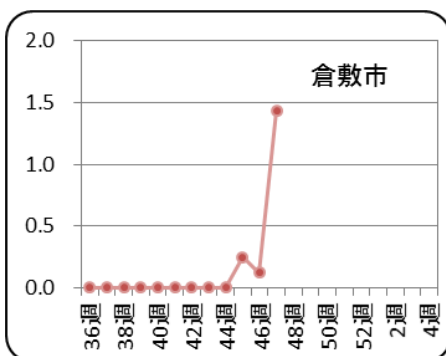
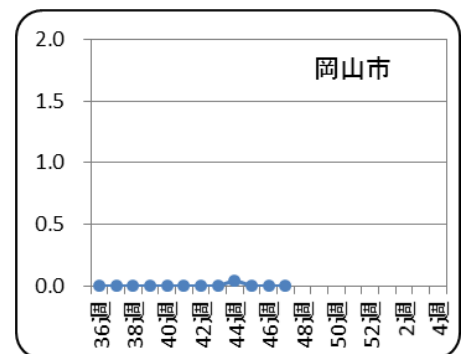
前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	31	↑	備 中	患者数	5	↑
	定点あたり	0.37			定点あたり	0.42	
岡山市	患者数	—	→	備 北	患者数	3	→
	定点あたり	—			定点あたり	0.50	
倉敷市	患者数	23	↑	真 庭	患者数	—	→
	定点あたり	1.44			定点あたり	—	
備 前	患者数	—	→	美 作	患者数	—	↓
	定点あたり	—			定点あたり	—	

【記号の説明】 前週からの推移： 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 ↘ 1.1未満の増減 →
1.1～2倍未満の増加 ↗ 2倍以上の増加 ↑



全国集計第46週(11/11～11/17)速報値によると、全国では定点あたり0.14人であり、発生はまだ散発的です。地域別では、沖縄県(1.02人)、北海道(0.71人)、岐阜県(0.49人)の順で定点あたり報告数が多くなっており、沖縄県でインフルエンザの流行が始まりました。



3. インフルエンザウイルス検出状況

第47週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、AH3型が3株でした。今シーズンでこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が7株です。

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が40株、AH1pdm09型が16株、B型（ビクトリア系統）が7株、B型（山形系統）が7株、B型（系統不明）が6株で、昨シーズンの同時期同様AH3型が最も多く検出されています。

（平成25年11月28日現在）

[（インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立感染症研究所））](#)

ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルス AH3 型	2013 年第 47 週	2013 年 11 月 19 日	倉敷市	小学生	女	
インフルエンザウイルス AH3 型	2013 年第 47 週	2013 年 11 月 19 日	倉敷市	小学生	男	
インフルエンザウイルス AH3 型	2013 年第 47 週	2013 年 11 月 19 日	倉敷市	小学生	男	

4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザとみられる学級閉鎖が倉敷市保健所管内の小中学校でありました。

1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名*	有症者数		うち 欠席者数		施設数合計		休園・ 休校数		学年閉鎖 施設数		学級閉鎖 施設数		初発 年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	44	45	22	23	2	3	—	—	0	1	2	2	H25. 11. 13
岡山市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
倉敷市	44	44	22	22	2	2	—	—	—	—	2	2	H25. 11. 18
備前地域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
備中地域	0	1	0	1	0	1	—	—	0	1	—	—	H25. 11. 13
備北地域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
真庭地域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
美作地域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2) 臨時休業施設数の内訳

第47週：2施設

累計：3施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	0	1	2	2	—	—	—	—	—	—

<インフルエンザの予防接種はお早めに！>

インフルエンザの予防接種を行っても、**抗体ができるまでには2週間程度**かかるとされています。本格的な流行が始まる前に、**早めのワクチン接種**をご検討ください。

定期予防接種の対象者は積極的に予防接種を受けましょう。定期予防接種の対象者以外の方は、任意での予防接種を受けることをご検討ください。

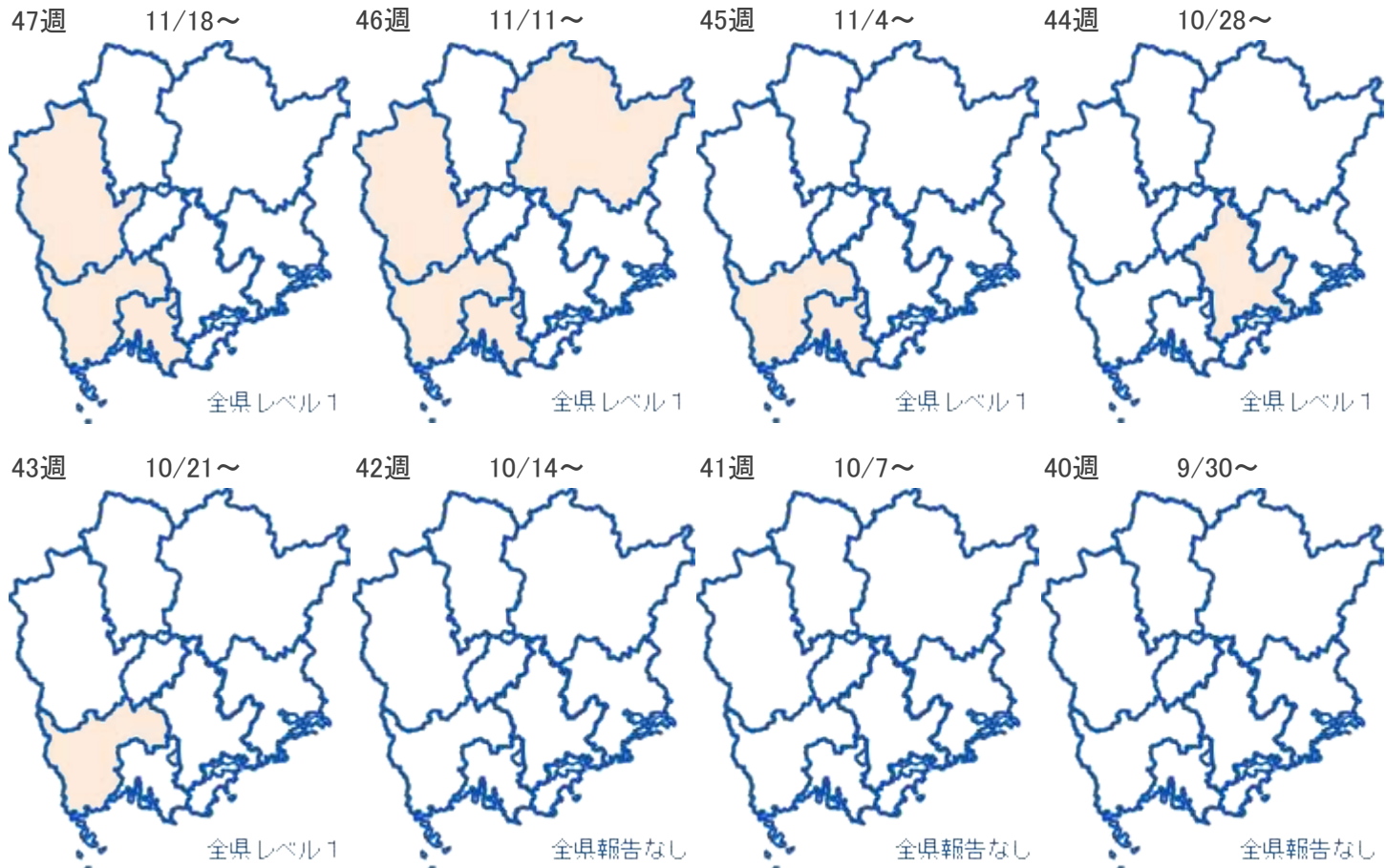
ワクチンの在庫及び、予防接種の予約等については、各医療機関にお問い合わせください。



岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2013年 47週

2013年11月27日

13:17:28



インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。